



## 硯川遺跡群 (すずりかわいせきぐん)

硯川遺跡群は、平成 8 年に川上小学校の校庭から石器が発見されたことにより、旧石器時代の遺跡として知られていました。平成 26 年以降、道路建設に先立ち、複数の地点で発掘調査を実施しています。

硯川遺跡群では、今から約 3 万年前のものと考えられる数多くの旧石器時代の石器の分布を確認しました。

見つかった石器は、完成品が少なく、その材料となった素材や破片が多いことから、石器製作のあとであるものと考えています。

### 旧石器時代の石器の出土状況

総計 500 点を超える数が出土しました。



石器作りの材料として、黒曜石、安山岩、チャート、水晶、凝灰岩などの多様な岩石が用いられていました。その中には、阿蘇や県央・県南、遠くは佐賀県・長崎県方面からもたらされた岩石もあり、旧石器時代人の活動範囲を考えていくうえで貴重な発見となりました。

### 出土した石器

長さ約 5 cm。石斧の刃部に近い部分の破片？  
熊本での出土は非常に珍しいです。